令和８年度　第２回　浜名小学校運営協議会　会議録（要点記録）

１　開 催 日 時　　令和８年９月９日（水）（13 時 40 分から 14 時 00 分まで授業参観）
　　14 時 00 分から 15 時 45 分まで
２　開 催 場 所　　浜名小学校　多目的室
３　出 席 委 員　　松島　一博、望月　聡太、内山　益巳、森上　彩加
　　澤木　繁暢、本多　高次、平野　欽嗣、金子　まなみ
４　欠 席 委 員　　窪谷　彩子
５　オブザーバー　渡辺　東作（R７学校運営協議会委員）
　　平野　岳子（R７学校運営協議会委員）
　　町田　幹子（R７学校運営協議会委員）
　　石井　大三（R７学校運営協議会委員）
　　髙林　正　（R７学校運営評議会委員）
６　学校支援コーディネーター
　　渡邉　涼子
７　学　　校　　河合　勝之（校長）、小野　芳敬（教頭）、湯川　靖彦（主幹教諭）
　　足立　香代（CS ディレクター）
８　傍　聴　者　　なし
９　会議録作成者　CS ディレクター　足立　香代
10　議長の選出

司会から議長の選出について委員に意見を求めたところ、前回の出席者から松島会長を議長に推薦する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

11　協 議 事 項

（１）授業参観の感想
（２）「前期学校評価アンケート結果」と「全国学力学習状況調査の報告」について
（３）部別協議
　　課題検討部（松島、望月、内山、渡辺、平野、校長）
　　地域体験部（森上、澤木、町田、石井、主幹教諭）
　　学校支援部（本多、平野、金子、渡邉、髙林、教頭）
（４）各部報告・全体協議
（５）その他
　①学校の抱える課題を解決するために、２学期以降取り組んでいけることについて
　②１学期ボランティア活動の実践（学校支援 CD）

12　会 議 記 録

会長から委員総数９名のうち８名の出席があり、過半数に達するため会議が成立している旨の報告があった。

（１）各委員から「授業を落ち着いて受けている」、「一斉指導ではなく、子供たちの主体的な学ぶ姿勢が見られた」、などの授業参観の感想があった。
（２）主幹教諭から「前期学校評価アンケート結果」と「全国学力学習状況調査の報告」につい

て別紙資料に基づき説明があった。
協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

（３）部別協議

（４）各部報告・全体協議

〇課題検討部（望月委員）

・防災について、最近の豪雨や地震等の災害は、予測以上で訓練等をしてはいるが、実際に通用できるかが心配。

・地域との連携問題について、親が閉鎖的な部分が見えている。近所に知っている大人がいるという安心感を得るために、行事やイベントでつながりを増やしていきたい。

〇地域体験部（森上委員）

・登下校時のゲリラ豪雨の際、避難場所が小松地区はあるが平口地区は、田んぼ道が長く避難場所もない。バスなどの解決策を考えても実際問題、保険や運転手等難しい面が多いため、新たな解決策をみんなで検討していきたい。

・登下校時、車の送迎で駐車場が渋滞になるので、ボランティアの人が対応することで、ドライブスルー方式で回避できる部分ができるのではないか。但し、事故等の問題が起こったときの責任問題が出てくる。

・学校生活で着替える場所について、保育園や幼稚園では、男女別で着替えをしていて、それが定着しているところ、１年生になって同じ教室で着替えているのを見て、戸惑う子が多いのではないか。

〇学校支援部（渡邉コーディネーター）

・ボランティアの募集は順調に人が集まっている。ただ、水やりが集まっていないので、今後も募集をしていきたい。

・ボランティア活動の体験会をやって、学校のボランティア活動の周知を図っていきたい。

以上のような意見が出され、これからも家庭・地域・学校で連携を図り、できることをやっていくことを了承された。

13　１学期のボランティア活動の実践

渡邉学校支援コーディネーターから、１学期に実践したボランティア活動についての報告があった。

14　その他報告事項等

・町田オブザーバーから、10/21 に就学時健診を行うが保護者のボランティアは集まりにくいため自治会の方や､他のボランティアグループに協力をお願いしたいという話があった。

・望月委員から「フェスタこまつ」について、浜名地区を元気にするイベントというテーマで、今年は八幡神社で行う予定であり、浜名中のボランティアも募っていて、活気あるイベントにしていきたいという話があった。

司会から、次回会議は、12 月 11 日（金）13 時 40 分から 15 時 40 分に多目的室で開催する旨の報告があった。また、今後の学校行事として、校内運動会 10 月 17 日（土）、まなびの発表会が 12 月８日（火）の日程等が伝えられ、委員に対して参加を呼び掛け、会を閉じた。